

こすど地区公民館報

発行/編集 小須戸地区公民館
〒956-0101
新潟市秋葉区小須戸120番地5
TEL (0250) 25-5715
FAX (0250) 38-5210
E-mail kosudo.co@city.niigata.lg.jp

インターネット子育て講演会 「こすど親子フェス」講演要旨(下)

小須戸コミュニティ協議会と小須戸地区公民館では、7月18日(土)、7月26日(日)の2日間に渡り収録を行い、編集作業を経て、8月8日(土)より4週に渡り、子育てに関する講演会の動画を配信しました。第3回目・4回目の講演の要旨を次のとおり取りまとめましたのでご紹介いたします。(詳細は動画を視聴してみてください。)



第3回配信の社会福祉協議会コーディネーター川村さん・白井さんと「きらりん」

第3回「ふあんやギモン子育てのこと、なんでも聞かよ！子育てなんでも相談センターきらきらの活用法～」
新潟市社会福祉協議会・秋葉区社会福祉協議会

社協さんからは、子育てをしていると、イライラ、シクシクというんな気持ちが出てくるけど、何でも相談できる数居が低い相談窓口として、「子育てなんでも相談センターきらきら」について、「よくある相談内容」をベスト10形式にご紹介いただきました。
子育てを一人で抱え込まずに、下記の連絡先へ電話やメールで話を聞いてもらい、気持ちが整理されることで、少しキラッとするのはないでしょうか？



第4回配信の椎谷照美先生と区健康福祉課の佐藤保健師

第4回「3つのテーマで子育てミニ講座」
椎谷照美先生・秋葉区健康福祉課

椎谷先生と佐藤保健師からは
①トイレトレーニング
②災害に備えて子どもを連れての避難
③相談コーナー
の3部構成でご講演いただきました。中でも、「災害に備えて子どもを連れての避難」では、中越地震の避難者へのアンケート結果から、見えてくる避難中不便だったこと(ほ乳瓶が洗えない。離乳食が作れないなど)の具体的な事例を挙げて、ご紹介いただきました。



「ミニ風土記」
五十嵐淳さん

矢代田 第一自治会の副自治会長を務めていた間、少しでも地域の皆さんに情報提供ができたらと、自治会だより「たかがさわ」を発行しました。そのなか「ミニ風土記」というコーナーを作り、地元に関する史実・伝説などを紹介しました。資料として「小須戸風土記」(相大治著)と「小須戸町史」です。第一号では、高ヶ沢部落に隣接している「十二屋敷」という土地に触れました。ここは、佐渡に流された順徳上皇の皇子・広臨親王が従者十二人とともに隠れ住んだという伝説がある所です。そういえば、子どもに合った祠を「十二さま」と呼んでいましたが、関係があるのかもしれませんが、この連載で、私自身、地域への愛情が深まりました。子どもたちにも地域の史実などを知ってもらえたらと思っております。

このようなことから、「家族で防災会議を行い、家族の集合場所や携帯電話がつかない時の集合方法についてやりこつ

クの具体的な中身について、考える機会を設けてください。」とお話がありました。



(上) 日頃から備えておく便利な防災グッズ一覧
(下) あると便利なキャリー付きタンクを紹介する椎谷先生



子育てなんでも相談センターきらきら

相談受付日 平日(土・日・祝日、年末年始除く)
8時30分～17時15分

相談方法 電話 025-248-2220
メール きらきらのHpの相談フォーマットから

年齢制限はありません!
子育てに関することなら、誰でも相談できます!

(上) きらきらの連絡先と相談方法
(下) 寄せられる相談内容

相談内容 ～「きらきら」にはこのような相談が寄せられます～

- ☆育児方法(トイレトレーニング、離乳食、母乳や睡眠等)
- ☆子育て情報(一時預かり、送迎、居場所等)
- ☆医療・保健・健康(子・親の体調不良、怪我等)
- ☆発育・発達・性格行動(言葉など発達の遅れ、性格行動)
- ☆教育関係(不登校、学校関係)
- ☆悩み・不安・苛立ち
(子どもに対する苛立ち、自身の人間関係や夫婦、親族関係の悩み、子育て不安等)
- ☆障がいのあるお子さんのための情報
(障がい児の預かり、移動支援、居場所等)

動画については、現在も視聴可能です。
検索サイトで「こすどなじらネット」と入力して検索するか、ブラウザで <http://info-niigata.net/oyako/> と入力。
もしくは右の2次元バーコードをクリックしてください。

●●●小須戸まちづくりセンターで「こすど親子フェス」収録DVDをレンタルしています●●●
インターネット環境がご家庭に無い方、スマートフォンの通信料が心配な方などに対し、講座を収録したDVDをレンタルします。数に限りがありますので事前にお問い合わせください。
◆問い合わせ先 小須戸まちづくりセンター TEL: 25-7069

公民館事業紹介



小須戸地区公民館



12月12日(土)

9:30~11:30

会場：小須戸まちづくりセンター

対象：小学生とその保護者
(祖父母と孫 または 親子)

定員：先着 8組

参加費：1,000円(当日持参してください)

持ち物：花ばさみ、マスク

申込み期間：11月16日(月)~11月30日(月)

作ってお持ち帰りできます↓

◆門松(かどまつ)は年神様を家に迎え入れるための依り代としてお飾りする日本の伝統文化です。新しい年に向け、祖父母または親子で作ってみませんか。

お申し込み先：小須戸地区公民館 ☎0250-25-5715

*新型コロナウイルス感染の拡大状況により、今後、中止もあります。
当日、風邪症状(37.5度以上の熱、せき)のある人は参加できません。講座参加の際には、マスクの着用をお願いします。

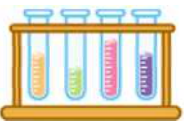
9月の公民館事業を終えて

●やってみよう科学実験

小須戸地区の子どもたちを対象に恒例となっている「やってみよう科学実験」が、新潟薬科大学の学生ボランティアの協力のもと、3密(密集・密閉・密接)を避け、新型コロナウイルス感染予防対策を施した上で、9月5日(土)、6日(日)に小須戸まちづくりセンターと小須戸地区ふれあい会館の2会



場で実施されました。参加者は24名でした。当日は
①「オルゴールを作ってみよう」
②「自分の指紋をみてみよう」
③「スライムを作ってみよう」
のテーマの実験を行い、子どもたちから科学の面白さを体験していたがきました。



小須戸地区図書室 新刊案内

- 【一般書】
- 『ワイルドサイドをほつき歩け』ブレイディ みかこ/著
 - 『夢をかなえるゾウ4』水野 敬也/著
 - 『すぐに役立つ366日記念日事典』上・下 加瀬 清志/著
 - 『少年と犬』馳 星周/著
 - 『世界一やさしい!アロマ図鑑』林 真一郎/監修
 - 『ドミノ in 上海』恩田 陸/著
 - 『覚えておきたい横綱の顔-伝説の横綱から現代までの横綱ガイドブック-』本間 康司/絵と文
- 【児童書】
- 『小学校では学べない渋沢栄一のやりぬく力』齋藤 幸/著
 - 『さがしてみよう!マークのえほん』ぼここうぼう/絵
 - 『ベッドのなかにはきょうりゅうのくに』まつおか たつひで/作・絵
 - 『集めてわかるぬげがらのなぞ -ゲッチョ先生のぬげがらコレクション-』盛口 満/文・絵
 - 『14ひきのびくにつく』いわむら かずお/作
 - 『つるかめつるかめ』あずみ虫/絵、中脇 初枝/文
 - 『イベントおりがみ-おって楽しい!使ってもり上がる!!』主婦の友社/編
 - 『びーだまふくろう』マランク・リンク/作、マルティン・ファン・デル・リンデン/絵

秋葉区健康福祉課 「笑顔健康クッキング」参加者募集!

*新潟市民は脳梗塞や胃がんで亡くなる人の割合が高く、予防するには食塩を減らして野菜を増やすなどの栄養のバランスが大切です。減塩のコツについて学びませんか。

開催日時	会場	申し込み期間
12/17(木) 10:00~正午 (受付:9:45~)	小須戸 まちづくり センター	11/18(水) 12/14(月)

テーマ：ちよい塩クッキング
~コロナ対応編~
内容：講話・バッククッキングの紹介
定員：先着 20人
持ち物：マスク・筆記用具・みそ汁(ご希望の方に塩分測定を行います)
申し込み先：健康福祉課健康増進係
0250-25-5686

短歌

張 鶏 高 期
木 亡 病 令 せ
厚 頭 衣 と ち
い 夫 の 云 シ
本 好 秋 胸 わ の
読 好 深 深 ま れ 中
ん み 深 まり そ で
で り み ま り そ 命
る う 描 そ つ 命
う け を 赤 と す 香
ち 洗 黄 ふ く ず 友
っ っ し れ れ わ の
て ひ と 見 れ ず
と 休 み

川柳

十五 厚 喜 家 医 お 立
夜 本 寿 康 者 も ち
の 本 過 を よ し 読
名 読 ぎ を 読 り ろ
月 ん ぎ を 読 り 本
鮮 晴 時 代 雑 何
や 耕 雨 代 の 誌 度
か 雨 読 飛 記 記 書
空 ち 飛 事 事 見 門
澄 夢 暮 び 信 飽 書
澄 枕 らす こ じ 不 入
む す 幸 える こ ない 味

俳句

ひ 木 妹 彼 秋 赤 散 稻
た 犀 の 岸 の と とん 歩 刈
ひ や 納 寺 暮 日 ぼ み っ
た 筆 夫 日 矢 群 ち が
と 筆 唱 夫 矢 群 ち が
冬 休 婦 矢 群 ち が
来 休 随 の 事 香 ぐ
る 休 随 の 事 香 ぐ
気 テ 岸 姉 ぼ り 事 香 ぐ
配 ー 岸 姉 ぼ り 事 香 ぐ
昨 日 夕 山 上 国 上 山 上
日 今 日 今 日 今 日 今 日

文芸欄

こ 玲 高 久 奉 保 会 保 浄 増 能
み 泉 橋 保 ミ 和 科 田 科 井 登
け 泉 ヲ ネ 崇 枝 修 郎 崇 留 お

俳句・川柳・短歌募集

題材は自由(お一人一句または一首)。住所、氏名(ペンネーム可)、電話番号を明記し、11月20日(金)までに小須戸地区公民館へ。
(※投稿が21句を超えた場合は先着での掲載となります。)

小須戸まちづくりセンター開設5周年記念事業 「こすど親子フェス」反省会が行われました

10月23日(金)、インターネット家庭教育講演会「こすど親子フェス」の企画に携った関係者が集まり、反省会を行いました。参加者は23名でした。11月号の公民館報発行日現在、特設サイトへのアクセス数が約3,000回。動画の視聴回数が約1,500回とコロナ禍の中での反響の大きさに驚くところ



動画の再生時間は1本あたり30分~1時間弱と短いものではありますが、講師との調整や映像収録、編集作業、オンライン会議を含めて延べ参加人数が220人、時間においては200時間超と膨大な時間を費やしたことで、映像制作の大変さを実感した経験を振り返り、事業に参画した参加者同士互いの労をねぎらっていました。

小須戸コミュニティ協議会

【ふれあいタイム】子育て応援!! 「ペアレントトレーニング」講座を行いました

10月28日(水)小須戸地区ふれあい会館研修室において、山の手コミュニティ協議会内の「ふれあいタイム」のサポーターによる企画としてお子さんへの適切な声掛けの手法を学ぶ目的で「ペアレントトレーニング」(ペアト)育児で笑顔になろう)講座を実施しました。講師には、秋葉区役所健康福祉課 家庭児童相談員の 宇佐美ひろみさんをお迎えし、「ほめることを大切とし、子どもの好ましい行動を育む」ための実践的なテクニックを事例も交えて分かりやすくお話いただきました。参加者からは「夫にも今日のペアトの内容について話して、子どもをたくさんほめて自己肯定感を育てていきたいと思いました。」や「すぐに実行できるヒントがたくさんでした。家族で共有しようと思います。」などの前向きな感想をいただきました。

子育てにおける困りごとや、ペアレントトレーニングについてもっと知りたい方は区健康福祉課 児童福祉係(☎25-5683)で承ります。お気軽にお問い合わせください。
☞「ふれあいタイムサポーター」募集中
子どもたちから元気をもらい、学べるがたくさんあります。子どもたちの交流や体験活動のボランティアに参加したい方は、山の手コミュニティ協議会事務局(☎38-3151)へお問い合わせください。



山の手コミュニティ協議会

【小須戸地区ふれあい会館のFAX番号が、11月より下記の通り変更となりました】

これまで:0250-38-3151(電話番号兼用) → 11月より:0250-47-4002
お間違えの無いよう、よろしくお願いたします。